

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認、病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液・細胞・排泄物など）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用することにご了解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

研究課題名	当院での高齢者大腸癌に対する手術成績
研究機関名	愛媛大学医学部 消化管・腫瘍外科学講座
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	診療科名) 消化管・腫瘍外科 (職名) 助教 (氏名) 川本貴康
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2029 年 12 月 31 日
対象	2015 年 1 月から 2024 年 12 月に愛媛大学医学部附属病院の消化管腫瘍外科にて大腸癌に対する腸切除術を受けられた患者さん
利用する試料・情報等	性別、年齢、身長、体重、合併症、既往歴、現病歴、前治療歴、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要	日本では高齢者の人口は増加傾向にあり、2023 年には人口のおよそ 1 割が 80 歳以上となっています。これに伴い高齢者の大腸癌症例も増加していますが、80 歳以上の大腸癌症例に対する治療方針に関しては一定の見解を得られていない状況です。本研究は、当院で手術施行した 80 歳以上の大腸癌症例に関して、短期および長期成績を 80 歳未満の症例と比較しその安全性や有効性を検討することを目的としています。
個人情報の取扱い	収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳重に保管いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。 また、保管される試料・情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院消化管・腫瘍外科 川本貴康 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5975
---------	---